

IB生とJRC部で台湾に義援金をお届けしました！

9月23日・24日に台湾を襲ったスーパー台風18号による豪雨被害で、東部花蓮市は甚大な被害を受けました。青森南高校は令和5年から台湾花蓮市の慈済大学附属高級中学校と姉妹校提携をして交流活動をしています。10月には海外フィールドワークで台湾を訪問します。

青森南高校は昨年からはグローバル探究科が開設され、1期生であるわたしたちは、10月初めて海外フィールドワークで台湾を訪れます。そこで今回、訪問先であり、姉妹校のある花蓮市が甚大な被害に見舞われたと知り、何かできることはないか考えました。

グローバル探究科の中でも国際バカロレアコースを選択している4名で「CAS活動」というものを行っています Creativity・Activity・Service の頭文字を取ったもので、この3分野で人間的成長や社会的責任、協働力、自己理解などを育むことを目的としています。今回の募金活動も、事前に花蓮市の高校生とオンラインで会議をもち、相手のニーズを知るところから始めました。JRC・ボランティア部と協力して10月5日にサンロード青森様で募金ブースを開設させていただき、義援金を募集する活動を行いました。いただいた募金をどうやって台湾に届けるか、日本赤十字社青森県支部の方に御協力いただきました。集まった募金総額 79,529 円は10月23日に中華民国赤十字社を通して台風18号で被災された方々へ届けられました。御協力ありがとうございました！

